



平城宮跡・東楼復原工事 現場だより 第26号

「時を営む、時を繕う」 奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場

～工房めぐり～魅せる！現場

現在、平城宮跡の東楼の現場では屋根工事の真っ最中！今が一番の見所である現場を支えている一つ、瓦屋さん（山本瓦工業）の協力のもと、平城宮跡の現場を飛び出し、古代瓦の製作を若い学生と共に見学しました。



学生からは古代瓦の復原根拠など鋭い質問もあり、数式などを用いて解説頂けました



飛鳥時代からの伝統の工法、道具の説明を実演を含めて説明をして頂けました

～職人紹介～



山本正道工場長
瓦をつくり続けて30年
東大寺大仏殿や唐招提寺金堂など名だたる建築物の保存修理などに携わってこられました



年代毎の特徴などを貴重な瓦の実物から説明を頂けました



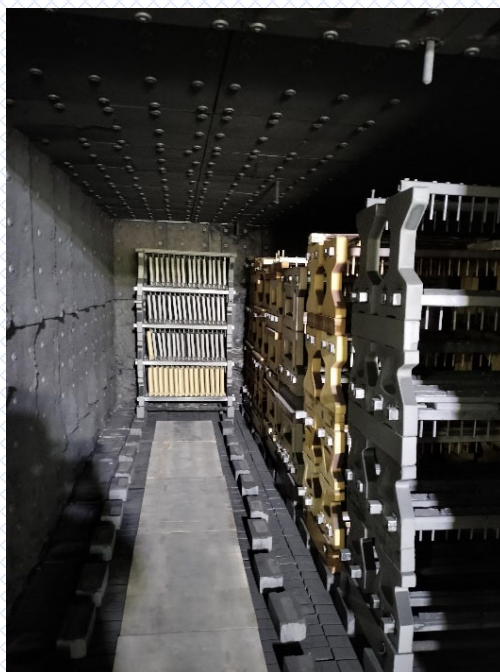
姫路城のシャチホコ（「平成の大修理」で4体作成（2体は本設、2体は予備））の1体が保管されており、参加者からは驚きの声が上がりました

～※東楼の「魅せる！現場（10名以上の団体向け）」は、新規受付を終了しました～

奈良時代の前半、平城京の中心施設であり重要な儀式に用いられた第一次大極殿院。かつての姿を蘇らせる為に行われている現在の東楼の工事現場の舞台裏の紹介の他、飛鳥時代から江戸時代までの貴重な瓦や鴟尾の他、多彩な飾り金具などの展示も同時に見学が出来ます。10名以上の団体向けで開催をしておりましたが、**開催可能日の全てに予約が埋まりましたので本事業での新規受付は終了**致しました。



「時を営む、時を繕う」 奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場



道具などの他、瓦の原料となる粘土（左上写真）や窯（上写真）も見せていただきました
また、間近で職人の技を見ることが出来ました（左写真）



最後は、参加者全員で鬼瓦製作体験。実際の三分の一の大きさですが、展示用になっており、裏面には名前や願い事などを記入しました。最後は記念撮影で終了。来月の焼き上がりが楽しみです。



工房めぐり 平城宮跡・東楼 復原工事

～※東楼の「魅せる！現場（10名以上の団体向け）」は、新規受付を終了しました～

奈良時代の前半、平城京の中心施設であり重要な儀式に用いられた第一次大極殿院。かつての姿を蘇らせる為に行われている現在の東楼の工事現場の舞台裏の紹介の他、飛鳥時代から江戸時代までの貴重な瓦や鴟尾の他、多彩な飾り金具などの展示も同時に見学が出来ます。10名以上の団体向けで開催をしておりましたが、**開催可能日の全てに予約が埋まりましたので本事業での新規受付は終了**致しました。